

“なぐる”“ける”だけがDVではありません!

生活費をまったく渡してくれません。かといって働くことも認めてくれません。なにも買うことができません…。

外出するのも自由にならず、友人や親戚と連絡をとることも許してもらえません。携帯電話も取り上げられてしまいました…。

毎日まいにち、「おまえはだらしない」「役立たず」とののしられます。子どもの前でも関係ありません…。

身体的暴力(なぐる・ける)はもちろんのこと、精神的、性的、経済的暴力もDV(ドメスティック・バイオレンス)です。

※DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者等の親密な関係にある者からの暴力のことです。

相手を支配するため、さまざまな暴力があります!
「恥ずかしくて誰にも言えない…」
「自分さえ我慢すれば…」と悩まず相談してください。

女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク



パートナーシップさいたま **TEL 048・643・5813**
女性の悩み電話相談 ●月～金曜日：午前10時～午後8時
●土・日・祝：午前10時～午後4時(年末年始・毎月第4日曜日を除く)

I N F O R M A T I O N

男女共同参画社会情報誌「You&Me～夢～」 通信員を募集!

市と協働して誌面を作成するボランティアです。



応募資格 市内在住、在勤、在学の方
※ただし、年3回平日の昼間に開催する会議に出席できる方
※会議開催時は託児あり(対象：1歳～未就学児)

募集人数 8名以内

任期 平成22年4月1日から平成24年3月31日(2年間)

応募方法 任意の用紙(A4縦長・横書き)に、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(又は所属団体)、電話番号、『①男女共同参画社会情報誌に関する感想、②男女共同参画についての意見(①と②で800字以内)』を記入し、直接、郵送、ファックス、又はEメールで男女共生推進課へ

応募締切 平成22年3月12日(金)必着

結果通知 3月下旬までに応募者全員に通知します

●問い合わせ・提出先

男女共生推進課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
TEL 048・829・1231
FAX 048・829・1969
E-mail: danjo-kyosei@city.saitama.lg.jp



GUEST MESSAGE

ゲストメッセージ

タレント 北斗 晶さん

PROFILE
1967年生まれ、埼玉県吉川市出身。1985年に女子プロレスラーとしてデビュー。1995年にプロレスラーの佐々木健介さんと結婚。2002年に現役引退後は、タレント、株式会社健介オフィスの代表取締役社長。2児の母。また、料理本などの著書多数。



人はそれぞれ かけがえのない存在 日々の生活に感謝し 笑顔でチャレンジ

プロレスラーからの転身
北斗晶さんは、17歳でプロレスラーとしてデビューした後、1995年に同じくプロレスラーの佐々木健介さんと結婚。現在はバラエティ番組をはじめ、タレントとしてすっかりおなじみの存在である。「引退後は、夢だった専業主婦になるつもりでした」と語る北斗さん。転機となっ

パートナーの苦境で一念発起
たのは、パートナーである佐々木さんの所属プロレス団体からの移籍だった。移籍した団体も経営不振に陥り、フリーとなった佐々木さんには、しばらく仕事がない状態が続いた。苦しい経済状況の中でも、「ごん底でも落ち込むより笑っていきましょう」と前向きにチャレンジした

結果、北斗さんは佐々木さんのマネージャー兼セコンドとしてプロレス界に復帰。二人三脚で困難に立ち向かう姿が、次第に芸能界でも注目されるようになり、多方面で人気を博していく。「結婚した時は、健介の収入は高く、私の好きなことや仕事をさせてくれたし、ずっと面倒をみてくれました。そう考えると、「一緒に苦労をしていきたい、いかなければいけないと、健介が稼げないなら私が稼ぐんだと決心しました。あの困難があったから、本当の夫婦になれたんだと思います」

家事と子育ても自然体で
2児の母でもあり多忙な日々を送っているが、佐々木さんとの間で家事の分担などは特に決めていないという。「お互いに仕事をしていますから、手空いているほう、気づいたほうがやればいい。健介だって洗濯機を廻すし、きれいな好きなのでよく掃除機をかけますよ。そういう意味では、バランスが取れていると思います。子どもだって自分で出来ることは自分です。当たり前なことだと思います」

子育てでは、時にはカツとなってしまふこともあるが、「そういう時には『健康に産まれてくれればそれでいい』とお腹の中にいた時に願ったことを思い出す。そして、その通りに育っているんだからいいじゃないかと、おおらかな気持ちになれますね」

それぞれかけがえのない存在
社長として会社の経営に携わっている

北斗さん。決断を迫られることも多々あるという。「社員が立てた企画で、失敗することがわかっていても、あえてやらせることもあります。失敗すること、なぜ失敗したかを考え、次につなげることが出来るからです。まずは、相手の考えを尊重し、思う通りにやらせてみるのが大切ですよ」とその言葉に熱がこもる。

「会社は私一人の力では成り立ちません。社員一人ひとりが頑張ってくれているからこそです。よく『お前の代わりはいくらでもいる』と言言葉聞きますが、私や健介もそうですが、その人その人で違うのですから、決して代わりがあるものではないですね。代わりは出来ません」という言葉に、北斗さんの相手の気持ちや一人ひとりの個性を大切にしている姿勢がうかがえた。

女性もつとていきいきと働ける社会に
今後の抱負を伺うと「日々是好日。今日、食へられることに満足をし、この生活が長く続くよう、毎日を大切に過ごしたいですね」と現在の生活の充実感を言葉にのこした。そして働く女性のためにも力強いエールを送る。「女性たちはもつと社会に進出してほしいです。そのためには子どもがいる女性が、安心して仕事が出来る環境を整備してほしいと思います。働く場所が遠い、子どもを預ける場所がないでは、落ち着いて仕事が出来ませんから」

インタビューでは、一つひとつの質問に対して丁寧に答えてくださった北斗さん。今後の更なる活躍が楽しみである。